

オイカワ
© カワサキの水辺

ニホンヤモリ
© Suipy



みんなで
見つけた!

かわさきの

生き物

図鑑

ホトケドジョウ
© カワサキの水辺



ルリタテハ
© 昆虫のマサ



アカアシシギ
© キナス・ドメス・タイテイス



しばいぬほとこだち
© しばいぬほとこだち



アカオ
© トラギ



しぶさ
© セスラ



アオスジ
© やませい

夏編



カブトムシ
© ノビルノスケ

センニンソウ
© 立葵

公園や緑地、河川や海など、変化に富んだ自然環境がぎゅっと詰まったまち、川崎市。まちは発展し、開発も進みましたが、川崎市には今も様々な生き物が暮らしています。

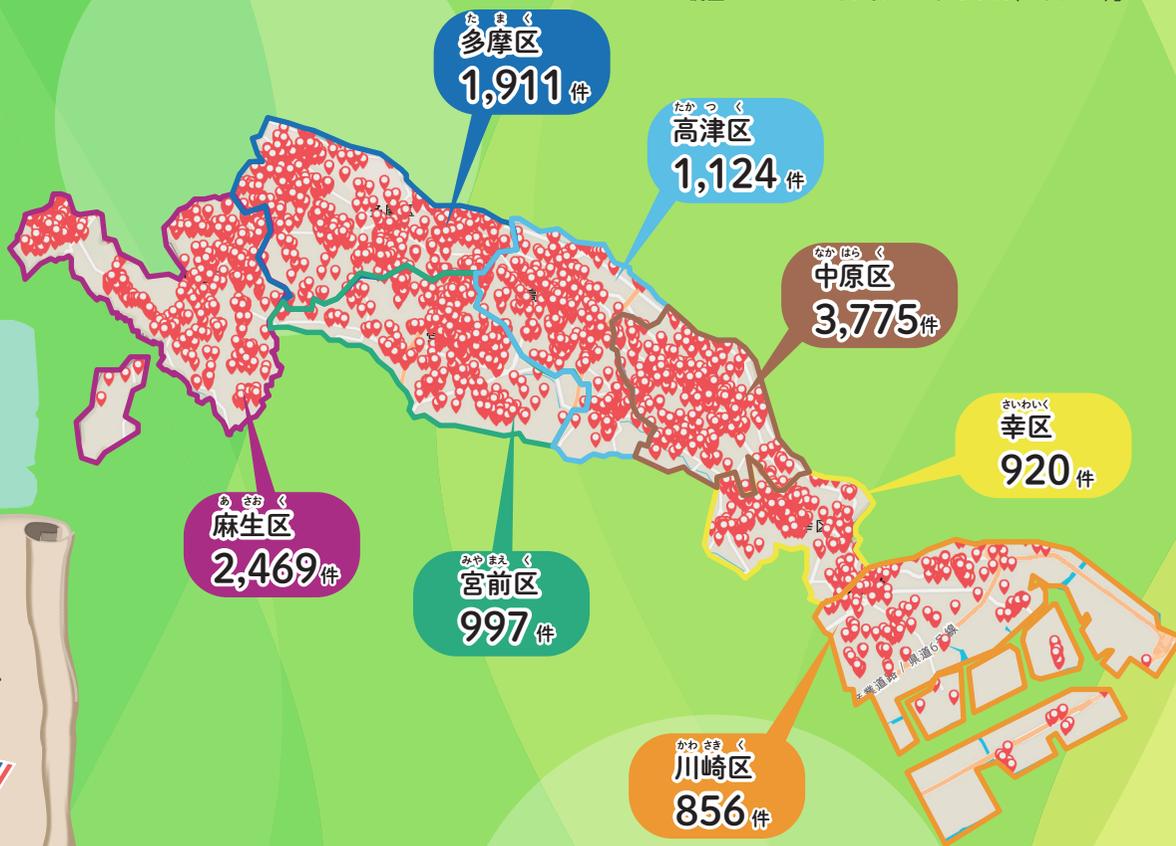
2023年7月1日から9月30日までの間、市民の皆さんに参加いただき、生き物調査「アプリで生き物探し！夏休み特別クエスト in かわさき」を実施しました。わたしたちの身の回りにはどんな生き物がいるのでしょうか？さあ、生き物探しに出かけましょう！

投稿いただいた写真を使用しています。
写真にはユーザー名を併記しています。

生き物クエスト 調査結果



今回の生き物調査は、スマートフォンアプリ「Biome(バイオーム)」のクエスト機能を活用し、市民の皆さんに川崎市内で見つけた生き物の写真を撮影・投稿いただきました。



～クエスト達成条件～

川崎市で見つけた生き物10種類の写真を撮影し、投稿すること

<p>投稿された数 12,052 件</p>	<p>発見した種類 2,487 種類</p>	<p>クエスト達成者数 234 人</p>
----------------------------	----------------------------	---------------------------

※クエスト：(Biomeアプリで期間・場所を指定し生き物調査をおこなう機能)

分類別の発見数

分類	発見した数(件)	分類	発見した数(件)
こん虫の仲間 (昆虫類・クモ類)	5,567	トカゲの仲間 (は虫類)	293
植物の仲間※1	3,857	カニの仲間 (甲殻類)	243
鳥の仲間 (鳥類)	581	カエルの仲間 (両生類)	174
魚の仲間 (魚類)	484	貝の仲間 (軟体動物)	111
ネコやタヌキの仲間 (ほ乳類)	409	ミミズの仲間など※2	66

※1 アプリ上の分類群「種子植物」と「その他植物」の合計

※2 アプリ上の分類群「その他動物」

投稿の多かった生き物 ランキング

2位
コナラ
日本の雑木林を代表する植物です。果実は「どんぐり」と呼ばれます。

1位
アブラゼミ
茶色の不透明な羽が特徴のセミです。「ジジジジジ...」と大きな声で鳴きます。

3位
キマダラカメムシ
国内最大級のカメムシです。公園や市街地の街路樹でよく見られます。

ヤマユリ



ユリ目
ユリ科

7月から8月にラッパ型の白い花が咲く植物です。花は強く甘い香りがします。

©terryshiyuan

ヒマワリ



キク目
キク科

7月から9月に黄色い花が咲く植物です。大きいと高さ3m程になります。

©えんちようせんせい

ツユクサ



ツユクサ目
ツユクサ科

6月から9月に蝶形の青い花が咲く植物です。花は朝咲いて昼にはしぼみます。

©セスタ 13

センニンソウ



キンポウゲ目
キンポウゲ科

8月から9月に十字形の白い花が咲く植物です。葉や茎の汁には毒があります。

©立葵

オイカワ



コイ目
コイ科

川の中流域に生息し、繁殖期(5~8月)になるとオスは赤く鮮やかになります。

©カワサキの水辺

みんなで
見つけた!

かわさきの 夏の 生き物

花が咲いたり、さなぎから羽化したり、色が変わったりなど、生き物たちは四季に合わせて様々な変化を見せてくれます。特に夏は生き物たちの動きが活発になり、見ごろを迎える魅力的な生き物がたくさんいます。

アオダイショウ



有鱗目
ナミヘビ科

大きいと全長2mにもなる、日本本土では最大のヘビです。毒はありません。

©昆虫のマサ

モクズガニ



十脚目
モクズガニ科

濃い毛のあるハサミが特徴のカニです。夏の終わりから秋は川で見られます。

©昆虫のマサ

ニホンヤモリ



有鱗目
ヤモリ科

建物でよく見られる夜行性のトカゲです。環境によって体の色を変化させます。

©Suipy

ヒグラシ



カメムシ目
セミ科

透明な羽と赤っぽい体色が特徴のセミです。朝夕に「カナカナカナ...」と鳴きます。

©昆虫のマサ

オニヤンマ



トンボ目
オニヤンマ科

日本最大のトンボです。成虫は6月から9月に涼しい場所で見られます。

©昆虫のマサ

アオスジアゲハ



チョウ目
アゲハチョウ科

黒い羽に透き通った青緑の線が特徴のチョウです。都市部でもよく見られます。

©ゆませんせい

ノコギリクワガタ



コウチュウ目
クワガタムシ科

都市部の公園でも観察することができます。湾曲した大顎が特徴的なクワガタムシです。

©lwome

みんなで
見つけた!

かわさきの 昆虫たち

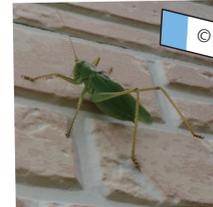
かわさきには様々な昆虫が生息しています。昆虫は枯れ葉などを分解して農業に役立つ良質な土に変えたり、花粉を受粉して植物に果実を实らせたりと、私たちの暮らしに密接に関わっています。見た目やイメージから嫌われてしまうこともあります。同じかわさきに暮らす仲間として生態をよく理解し、共存していくことが大切です。



©ゆませんせい

ニイニゼミ

まだら模様の前羽と真っ黒な後ろ羽が特徴です。「チーツ」と言う高い声で鳴きます。



©山イナゴ

ヤブキリ

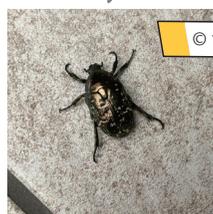
主に樹上で生活します。夜行性で夕方になると「シリシリシリ...」と鳴きます。



©昆虫のマサ

キイトンボ

鮮やかな黄色のイトトンボです。水草が多い池を好むため、最近数を減らしています。



©たこやきたこ

シロテンハナムグリ

樹液や果実でよく観察できます。くすんだ銅色に白い点が特徴的です。



©カズタケ005

ルリタテハ

羽のりり色の帯が目立つチョウです。雑木林や都市の小さな公園でも観察できます。



©昆虫のマサ

ショウリョウバッタ

イネ科の植物を食べます。都市部の公園でも観察することができます。



©Metron

チャバネアオカメムシ

茶色い模様が特徴的なカメムシです。雑木林の周りでよく観察することができます。



©昆虫のマサ

オオカマキリ

日本最大級のカマキリです。近づくと羽を広げて威嚇のポーズをとることがあります。



©せーいちやん

シモフリズメ

大型のガの仲間です。飛びながら空中停止(ホバリング)状態で花の蜜を吸います。



©でかわんこ

トラフカミキリ

ハチによく似ている見た目ですが、毒はありません。クワを好みます。



©昆虫のマサ

カメノコテントウ

日本では最大級の大きさのテントウムシです。川辺でよく見つかります。



©ノビルノスケ

カブトムシ

オスにだけ1対の角があります。成虫はクヌギやコナラの樹液に集まります。

調査で見つけた!

かわさきの希少な生き物

川崎市の取り組み
市内に生息する希少生物
について詳しくはこちら



かわさきには多様な生き物が生息していますが、絶滅の危機が迫っている生き物も少なくありません。身近に存在する希少な生き物を守っていくためには、一人ひとりが自然を大切にする意識を持ち、できることから行動することが重要です。今回の調査で発見された生き物のうち、環境省または神奈川県レッドリストに絶滅危惧種として指定されている生き物を一部紹介します。

神奈川県レッドリスト 絶滅危惧I類 (CR+EN)

※絶滅危惧I類(CR+EN):絶滅の危機に瀕している生き物

アカアシオオアオカミキリ



©トラガメ

夜にクヌギなどの樹液に集まります。背中が金属光沢のある緑色で、触角と足が赤いカミキリムシです。つまむと青リンゴのような独特のよい香りを放ちます。最近のクヌギ林の減少とともに数が減りつつあります。

神奈川県レッドリスト 絶滅危惧IB類 (EN)

※絶滅危惧IB類(EN):近い将来における絶滅の危険性が高い生き物

ホトケドジョウ



©カワサキの水辺

全身に黒い点模様があり、口から目にかけて暗い色の帯を持ちます。ドジョウの仲間には珍しく浮袋をもち、水底だけでなく水草の間などをよく泳ぎ回ります。生息に適した水田の水路などの減少により、数が減っています。

レンゲショウマ



©しばいぬはともだち

丸いつぼみが開くと薄紫色の花を咲かせます。がくは花弁状で平らに開き、本当の花びらがその内側に開くので、一見すると花が2重になって咲いているように見えます。盗掘やシカの食害などによって数が減少しています。

環境省レッドリスト 絶滅危惧II類 (VU)

※絶滅危惧II類(VU):絶滅の危険が増大している生き物

アカアシシギ



©キナス・ドメスタイティ

体は黒と白のまだら模様で、赤い足が特徴の渡り鳥です。目の周りには白い輪模様があります。しっしひがたせいで、どろなかしょうどうぶつた湿地や干潟に生息し、泥の中の小動物を食べます。世界中を渡って旅をしますが、繁殖場所などの減少により数が減りつつあります。

ちょうさ
調査で
見つけた!

外来種

かわさきの の生き物

外来種とは...

人の活動によってもともと生息していなかった地域に入ってきた生き物です。種類によっては増えすぎてしまったり、食べ物を奪い合うなど、もともといた生き物を大きく減少させてしまう場合があります。ペットは最後まで責任をもって飼うなど、外来種予防三原則を実践しましょう。

ガビチョウ

とくていがいらいせいぶつ
特定外来生物



©昆虫のマサ

スズメ目
チメドリ科

中国～東南アジアが原産の外来種で、日本にはペットとして持ち込まれました。褐色の羽毛と目の周りの白い輪状の体色が特徴です。鳴き声の音量がとても大きく、群れることも多いため、騒音被害につながることもあります。

アカボシゴマダラ

とくていがいらいせいぶつ
特定外来生物



©piroco

チョウ目
タテハチョウ科

羽は黒と白のごまだら模様で、後部に赤い斑点が入ります。関東地方で見られるアカボシゴマダラは外来種で、同じエノキの葉を食べる在来種のチョウと食べ物の取り合いをしてしまう可能性があります。と高いと考えられています。

外来種予防三原則

1. 入れない 外来種を外の地域から入れない。
2. 捨てない 飼っている外来種を捨てない。
3. 拡げない 既に野外にいる外来種を他の場所に拡げない。

ペットを飼う時は 最後まで責任を持とう

現在問題になっている外来種の中には、かつてペットとして日本に輸入されてきたものも多くいます。生き物を飼うときは、最後まで飼い続けられるかよく考えてから飼いましょう。



ミジシツピ
アカミミガメ
じゆみょうねん
(寿命20～40年)

©ナガブクロ



アメリカザリガニ
じゆみょうやくねん
(寿命約5年)

©昆虫のマサ

飼っているアカミミガメ(ミドリガメ)やアメリカザリガニを野外に放したり、逃がしたりすることは法律で禁止されています。

⚠️ 捕まえたアカミミガメやアメリカザリガニを一度持って帰ったら野外に放せないよ。
家族が困ることにならないかしっかり考えよう。

アメリカオニアザミ

その他の
そうごうたいさくがいらいせいぶつ
総合対策外来種



©えんちようせんせい

キク目
キク科

「アメリカ」という名前がついていますが、ヨーロッパ原産の外来種です。ピンク色や薄紫色の花を咲かせ、種には綿毛をつけます。全体にわたって鋭いトゲを持っているので、むやみに触らないように注意しましょう。

シンテッポウユリ

その他の
そうごうたいさくがいらいせいぶつ
総合対策外来種



©レーマンヴェント

ユリ目
ユリ科

タカサゴユリとテッポウユリの交配によって作られた園芸品種です。乾燥や低温などの厳しい環境にも強く、分布を広げています。テッポウユリよりも香りが弱いのも特徴であり、在来種を駆逐してしまう恐れがあります。

ほか
他にもたくさん!

かわさきの 生き物

かわさき市では、「生物多様性かわさき戦略」の取組の一つとして、市民の皆さんから身近な生き物の情報を募集し、地図情報としてわかりやすく発信する「かわさき生き物マップ」を公開しています。
皆さんも身の回りの自然に目を向けて、身近な生き物情報をお寄せください。ここでは「かわさき生き物マップ」に寄せられた写真をご紹介します。

かわさき
生き物のマップ
はこちら



かわさき生き物マップ



イソシギ



ナンバンギセル



ヒガンバナ



ヒミズ



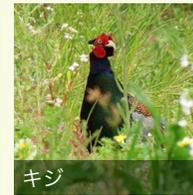
ヒラタクワガタ



カルガモ



メジロ



キジ



クビキリギリス



カタクリ



コブシ



ジャコウアゲハ



シュレーゲルアオガエル



ツミ



ドクワサンザシ



モズ



モンシロチョウ



ヤブカンゾウ



ユリカモメ



ルリボシカミキリ



カワセミ

河川や池などの水辺で見られ、長いくちばしを使って魚や水生昆虫を捕まえます。背中はキラキラとした青色で、その見た目の美しさから「溪流の宝石」とも呼ばれています。

これから始まる
Colors, Future! Actions
さあ、いっしょに。

100th

2024年、川崎市は市制100周年

川崎市は多様な人々が集まることで、多様な力が生まれ、発展をとげてきました。

この歴史的な節目を、次の100年に向けて「あたらしい川崎」を生み出していくためのスタートラインとして、オール川崎市で、多彩な記念事業「Colors, Future! Actions」を展開していきます。

COLORS, FUTURE! ACTIONS
KAWASAKI 100th



ACTION 01
グリーン・コミュニティ



ACTION 08
サステナブル



ACTION 09
イベント・祭



ACTION 14
学び

川崎市市制100周年記念プレ事業



市制100周年記念事業
公式ウェブサイト

はな みどり
花と緑
の祭典

令和6年 秋 10月~ / 令和7年 春 3月~ 開催

全国都市緑化
かわさきフェア

みどりで、つなげる。
みんなが、つながる。



全国都市緑化フェアは、昭和58(1983)年から毎年、全国各地で開催されている「花と緑の祭典」です。

川崎市市制100周年をきっかけに、そのシンボルとなる事業として「全国都市緑化かわさきフェア」を開催し、「川崎らしいみどり」を全国に向けて発信していきます。

秋 令和6年 10月19日(土)~11月17日(日)

春 令和7年 3月22日(土)~4月13日(日)

会場 | 富士見公園 | 等々力緑地 | 生田緑地 |



全国都市緑化かわさきフェア
公式ウェブサイト

主催 | 川崎市・公益財団法人都市緑化機構

実施主体 | 川崎市市制100周年記念事業・全国都市緑化かわさきフェア実行委員会

令和6年1月発行

発行：川崎市

制作：川崎市環境局総務部企画課

監修：株式会社バイオーム